

令和7年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりの能力やニーズを踏まえながら、生徒の「生きる力」を育む教育課程の編成に取り組む。 基礎学力の確実な定着を図るために、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を組織的に推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の「主体的に学習に取り組む態度の向上および定着」に向けて、授業改善を目的とした計画的・組織的な取組を充実させる。 授業で習得した知識・技術を活用する「課題解決型」の授業を各教科で導入・展開できるよう組織的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学習能力差が顕著になりつつある現状に対処するため、個別最適な学びの実現に向け、組織的な取組を図る。 「課題解決型」の授業を浸透させるため、各教科の取組（授業案や教材）を共有して、組織的に授業改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科での取組事例を授業研究会等で共有し、実際の授業で役立てることができたか。 生徒が記入する授業の振り返りシート、定期試験の結果、生徒による授業評価アンケートの回答結果等から授業改善の取組が反映されているか。 					
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣の確立と、社会的規範意識の醸成を図り、社会性を養う。 自己肯定感、自己有用感を高める。 個性や多様性を尊重し合える豊かな心を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自身が主体的に規範意識を高める活動の導入や、社会性を育む機会の充実を図る。 個々の生徒が抱えている困りの解消に向けた組織的支援相談体制の強化。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会見学など校外学習を通して生徒自らが考え方行動できる機会を設定し、生徒の規範意識の醸成を図る。 巡回や声掛けを通して生徒が安心できる学習環境をつくると共に、個々の生徒の困りの解消に向けた相談体制の一層の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒が校外行事等へ参加できるよう、企画内容を工夫し、参加率90%を超えることができたか。 巡回や声掛けに加え、SC, SSW, 外部機関とのさらなる連携強化を通して、すべての生徒の困りを解消することができたか。 					
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動を通じて、生徒の基礎的・汎用的能力を段階的に育成し、生徒一人ひとりが自己の生き方、あり方を考え、主体的に希望の進路を実現できるよう支援体制を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの進路や自己実現に向けて、主体的に取り組むことのできる態度を育成する。 進路実現に向けた情報と学習機会の提供を組織的に行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒がオープンキャンパスやインターネット・シップに参加できるよう、情報提供など環境を整備する。 キャリアガイダンスなどの機会を通して、卒業生や地域資源を有効活用し、個々の進路希望の実現に向けて支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> オープンキャンパスやインターネット・シップに参加した生徒が昨年の実績を上回ることができたか。 進学、就職共に幅広い分野の外部資源を有効に活用することができたか。 卒業予定者全員が希望する進路を実現することができたか。 					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	・生徒が持続可能な社会の担い手として活躍できるよう、学校を中心に家庭と地域が一体となって協働できる具体的な方策を検討・導入する。	・地域との連携を深化させ、生徒の人間関係形成能力の向上を図り、社会参画の意欲と態度を育成する。 ・地域資源を有効に活用し、生徒の防災・安全に対する意識の向上を図る。	・学校外で社会に触れる場(校外学習や登下校中、アルバイト経験など)を通して、社会と関わることへの意識向上を図る。 ・市役所、警察、保健所などと連携し高校生をとりまく今日的課題に対する講演会を開催し、生徒の安全意識向上を図る。	・生徒が社会の一員であることを自覚し、学校外での活動に積極的に参加し、地域との関わりを深めることができたか。 ・交通安全教室や薬物乱用防止講演会など、地域資源を有効に活用し、生徒の安全意識の向上に繋げることができたか。					
5	学校管理 学校運営	・常に安心安全で快適に学べる学習環境を維持する。 ・職員が一人ひとりの生徒に向き合える環境を整え、働き方改革をより促進する。	・定時制の閉課程を見据えて学校行事の精選を図る。 ・各分掌で担当する個々の業務内容を新着任者でも滞りなく対応できるようマニュアルを作成する。	・各分掌で閉課程に向けた行程を策定し、職員数減少を見据えた業務の精選、簡素化を行う。 ・各分掌が担当する業務について、引継ぎマニュアルを整備する。	・各分掌で担当する業務の精選、簡素化を実施することができたか検証する。 ・少数の職員でも滞りなく教育活動が実施できるよう引継ぎマニュアルを整備できたか。					